

平成29年度 前橋工科大学学生生活実態調査 報告書



Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

はじめに

本調査は学生委員会が中心となり、平成21年度から実施しています。

調査内容は、経済状況、食生活、大学生活など多岐に渡っており、幅広い視点から本学学生の実態等を把握し、今後の大学内での各種検討につなげることを目的としています。

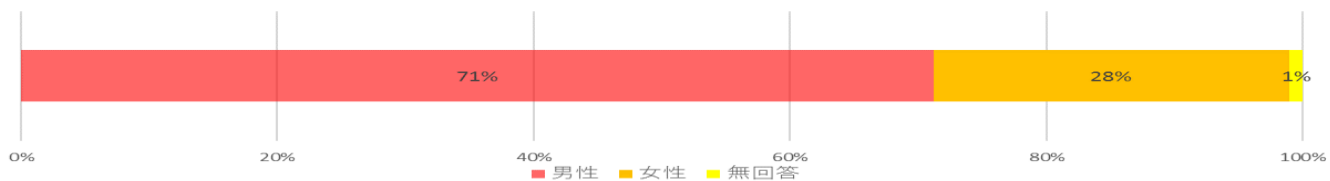
この度、今年度の調査結果を取りまとめましたので、報告します。

調査実施日	平成29年9月27日
調査対象学生数	1274名
有効回答数	1085名
(有効回答率	85.2%)

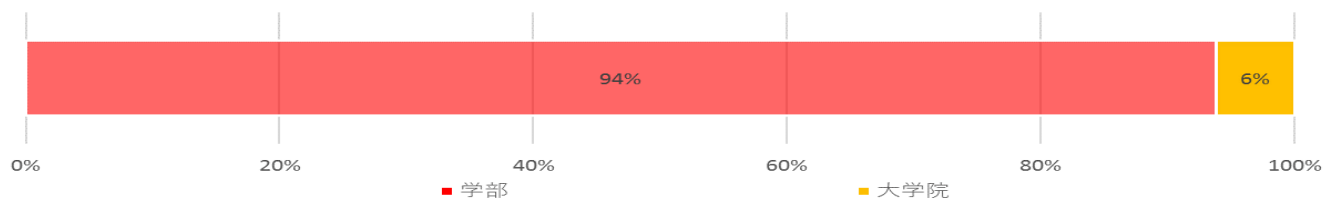
平成29年12月
前橋工科大学学生委員会

1. 回答者データ

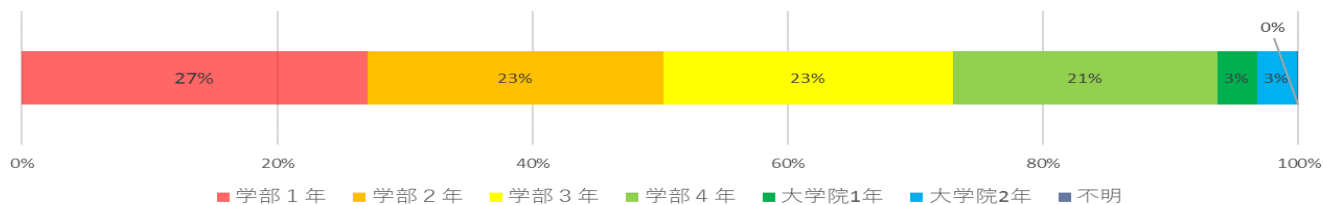
■ 男女比 (N = 1085)



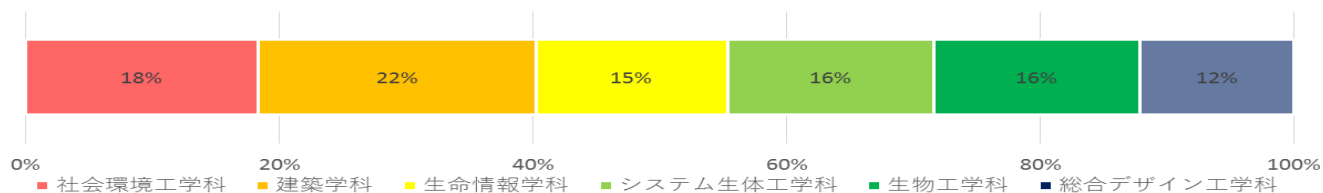
■ 課程 (N = 1073)



■ 学年 (N = 1074)



■ 学科/専攻 (N = 1065)



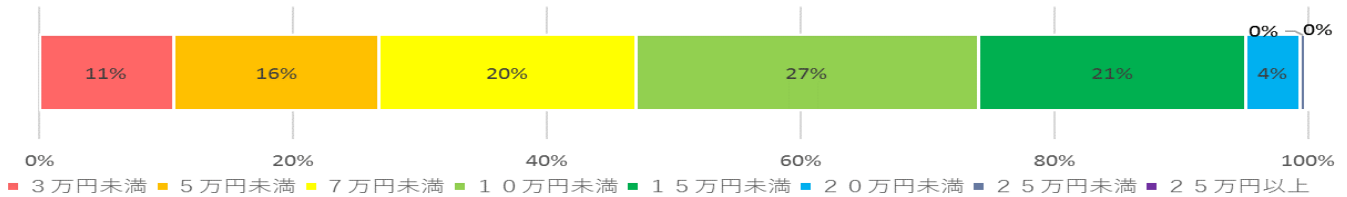
■ 住居スタイル (N = 1065)



2. 経済状況（1）

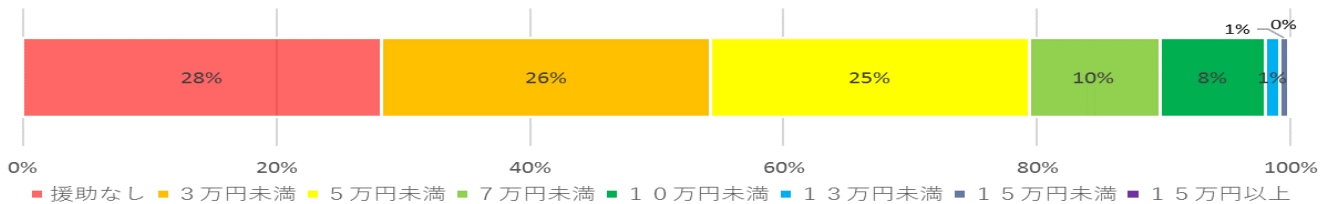
■ 一か月の総収入額（N = 1063）

10万円以上の学生が多くいる一方で、3万円未満という学生も少なくない。



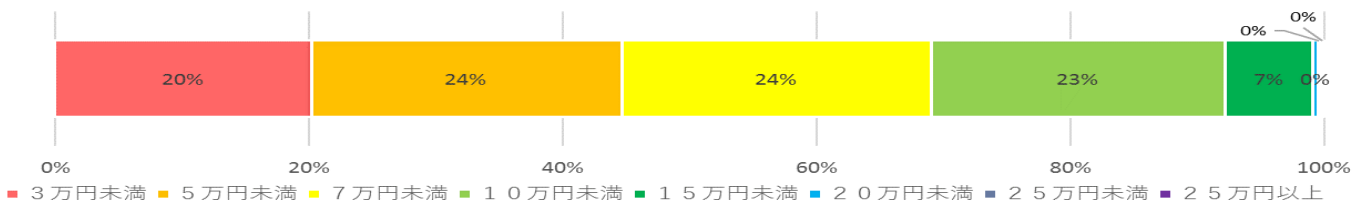
■ 家族からの援助額（N = 1056）

「援助なし」「3万円未満」「5万円未満」が同規模であり、多数を占める。



■ 一か月の総支出額（N = 1050）

1か月の支出を10万円未満に抑えている学生が全体の9割以上を占める。



2. 経済状況（2）

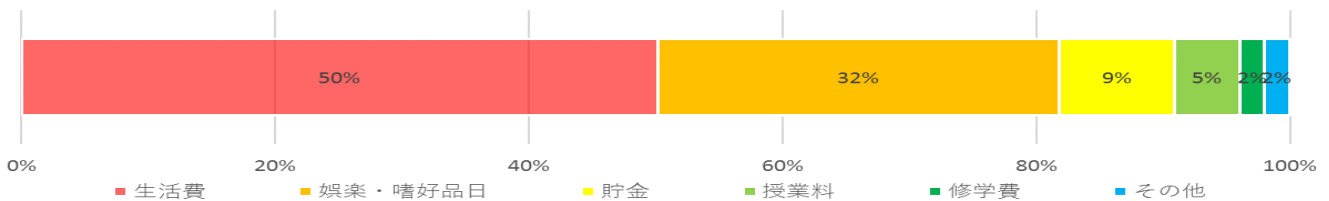
■ アルバイト（N = 1072）

7割を超す学生がアルバイトを実施している。



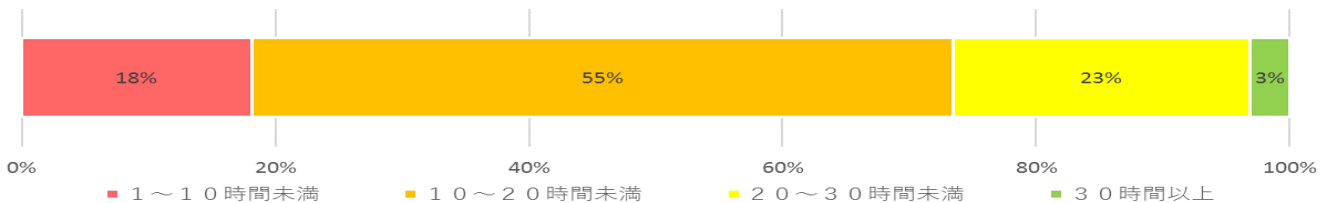
■ アルバイトの目的（N = 765）

生活費を賄うためにアルバイトを行なう学生が半数を占める。



■ アルバイトの労働時間（週）（N = 792）

多くの学生が週20時間未満でアルバイトを行っている。



■ アルバイトの収入額（N = 792）

5万円～7万円の収入をアルバイトで稼ぐ学生が多い。



2. 経済状況（3）

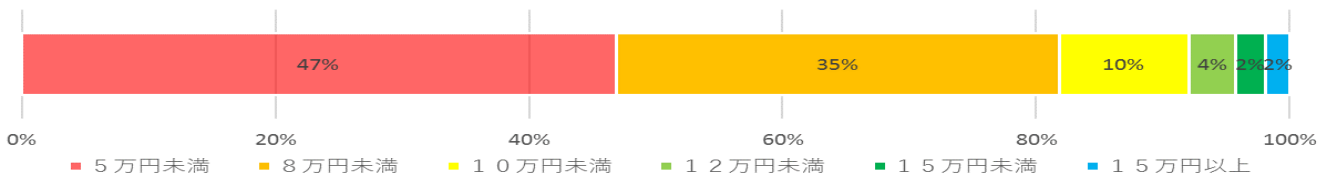
■ 奨学金の受給状況（N = 1055）

4割を超える学生が奨学金を受給している。



■ 奨学金の受給額（N = 467）

半数近くの学生が5万円未満での奨学金を受給している。



■ 奨学金の使用目的（N = 461）

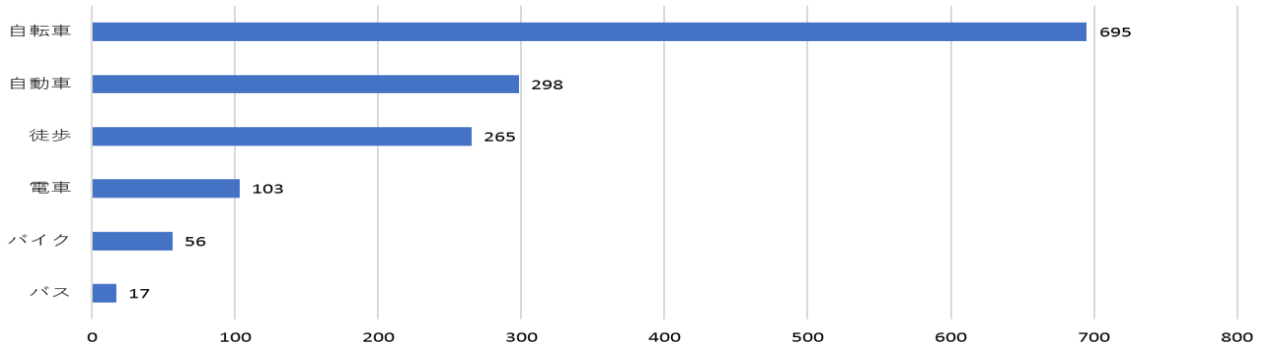
多くの学生が授業料を工面するために奨学金を受給している。



3. 大学生活（1）

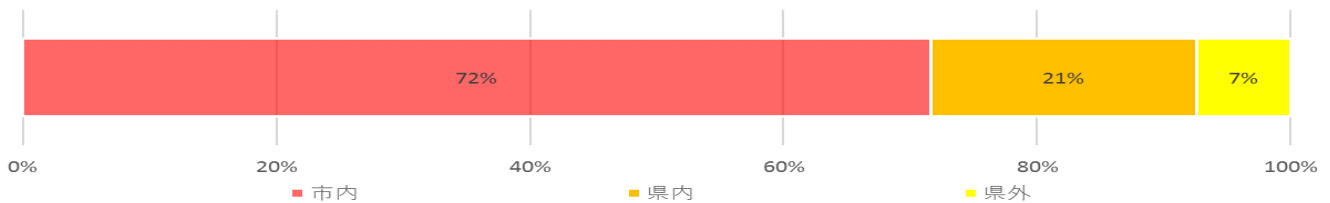
■ 通学方法（複数回答）（N = 1073）

交通手段の平均利用数は1.3程度である。



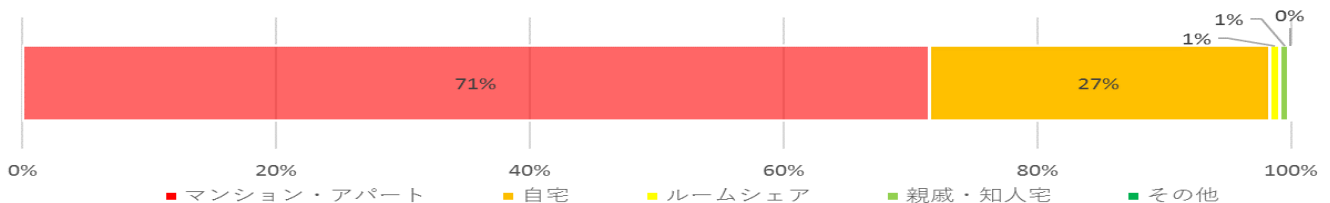
■ 居住地域（N = 1053）

市内から通学する学生が7割超となっている。



■ 住居の種類（N = 1002）

マンション・アパートが最も多く、次いで自宅となっている。



■ 家賃（N = 919）

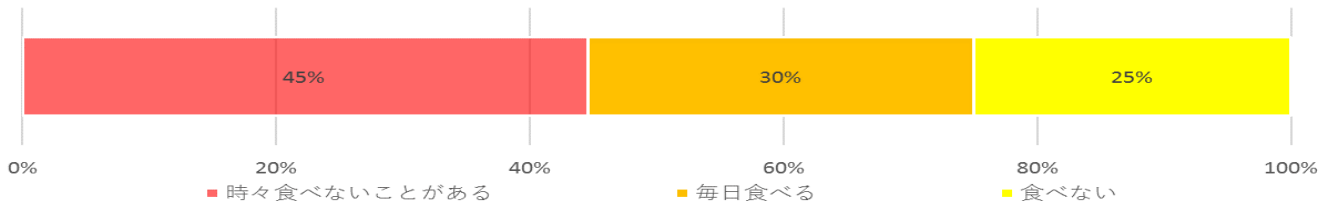
9割以上の学生が5万円未満の家賃の住居で生活している。



3. 大学生活（2）

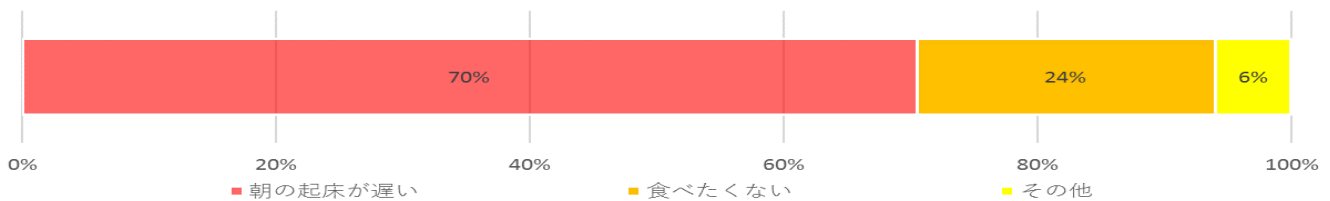
■ 朝食の有無（N = 1053）

多くの学生が毎日または時々朝食を食べている。



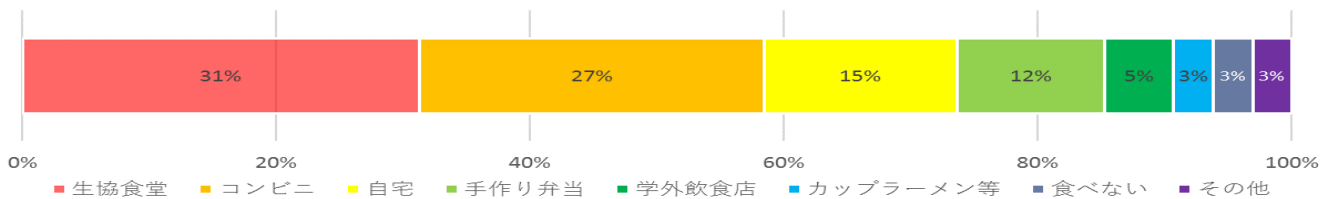
■ 朝食を食べない理由（N = 722）

起床時間が遅いために朝食を食べられない理由が7割を占めている。



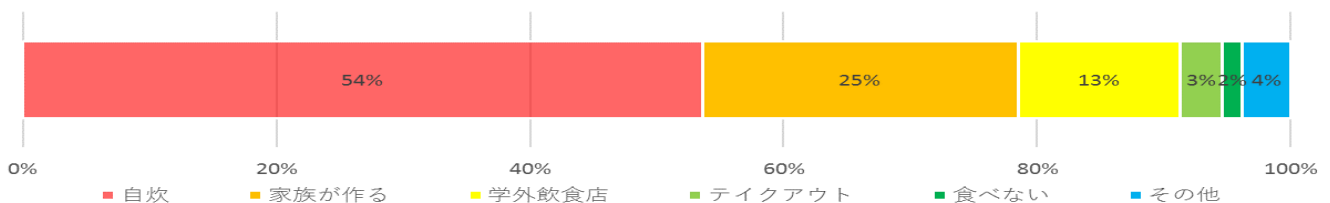
■ 昼食の種類（N = 958）

大学内やコンビニ等、アクセスしやすい場所で調達する学生が多い。



■ 夕食の種類（N = 976）

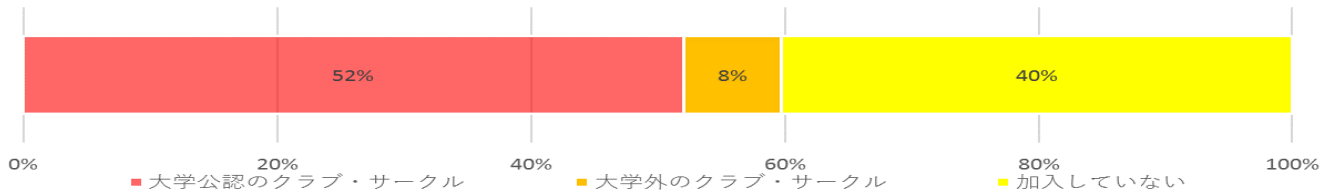
7割以上の学生が自宅で食べている。



4. 課外活動

■ クラブ・サークル・団体活動（N = 967）

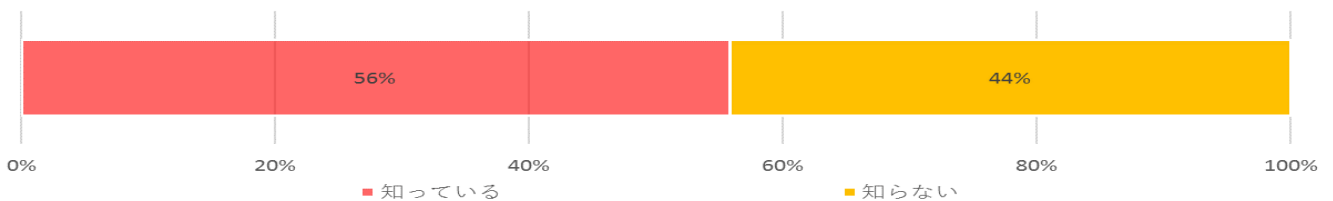
半数を超える学生が学内または学外で何らかの活動を行っている。



5. 悩み事と各種支援制度（1）

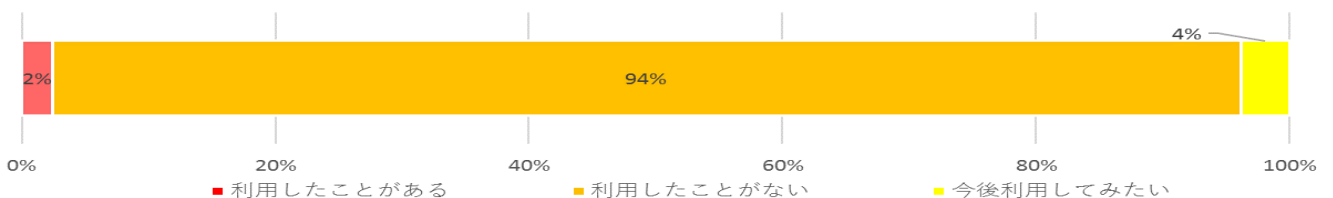
■ 学生相談窓口の認知度（N = 1039）

相談窓口について過半数の学生が知っている。



■ 学生相談窓口の利用（N = 1039）

学生相談の要望は数%に留まっている。



5. 悩み事と各種支援制度（2）

■ メンタル相談の認知度（N = 1042）

学生相談の認知度よりも低いものの、約40パーセントの学生に認知されている。



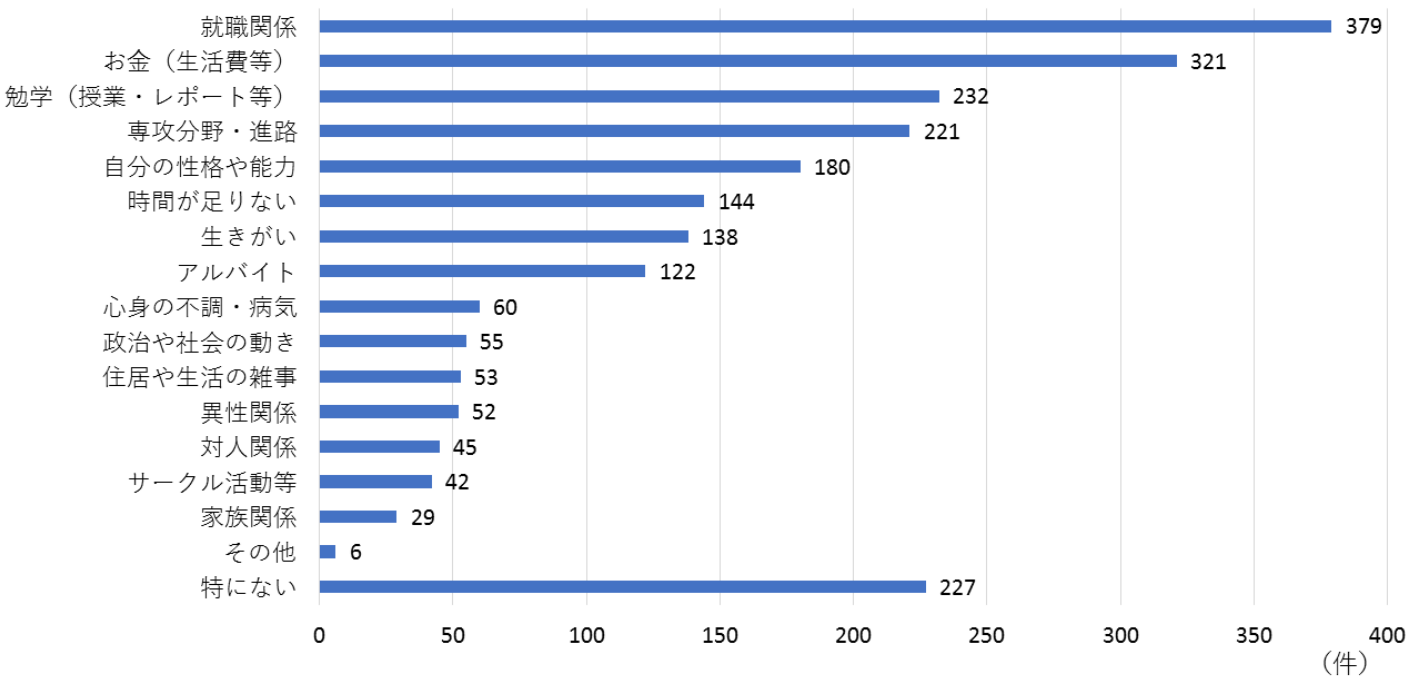
■ メンタル相談の利用（N = 1039）

メンタル相談のニーズは学生相談のそれと同程度である。



■ 日頃の悩み（複数回答）（N = 1074）

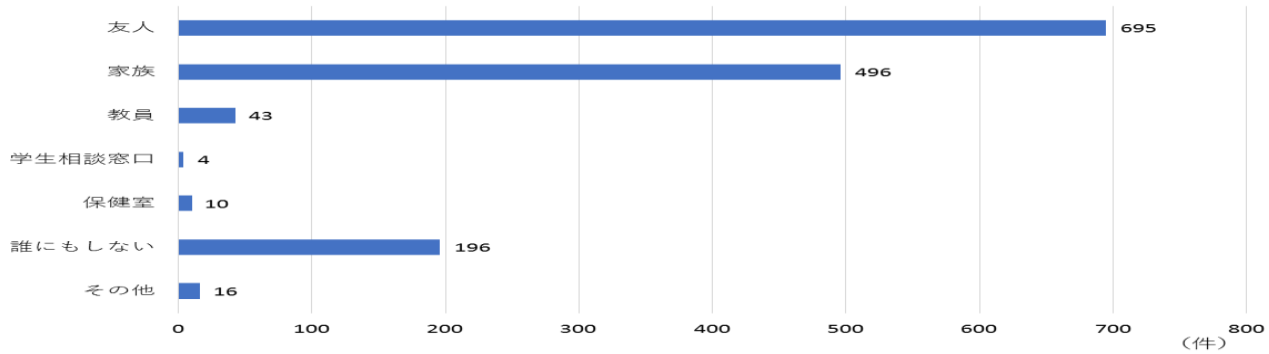
就職、金銭、勉学といった日頃から意識しやすい項目に関する悩みが多い。



5. 悩み事と各種支援制度（3）

■ 悩みの相談相手（複数回答）（N = 1074）

身近で共感してもらいやすい相手に相談する傾向が高い。



■ 担任制（N = 1035）

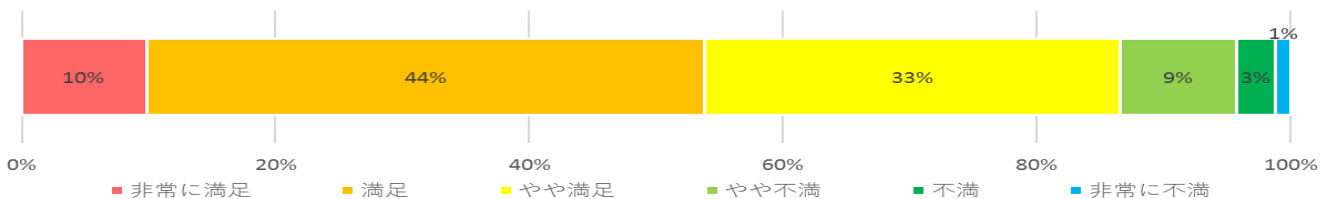
3割以上の学生が認識している。



6. 大学に対する満足度（1）

■ 学習環境の満足度（N = 1012）

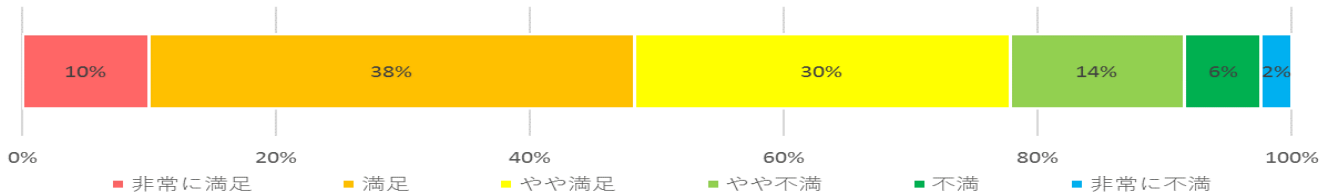
9割近い学生が「やや満足」以上と回答している。



6. 大学に対する満足度（2）

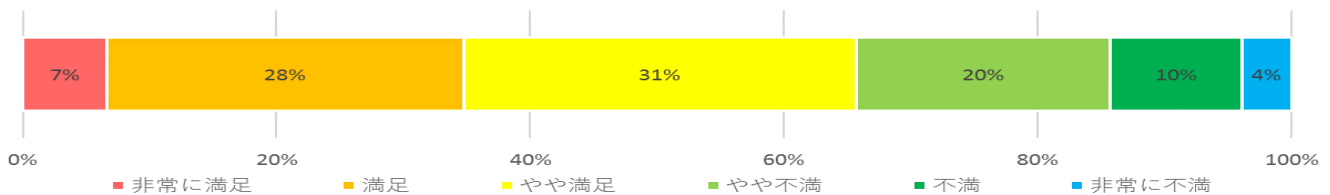
■ 情報機器の充実度（N = 1010）

多くの学生が「やや満足」以上と回答している。



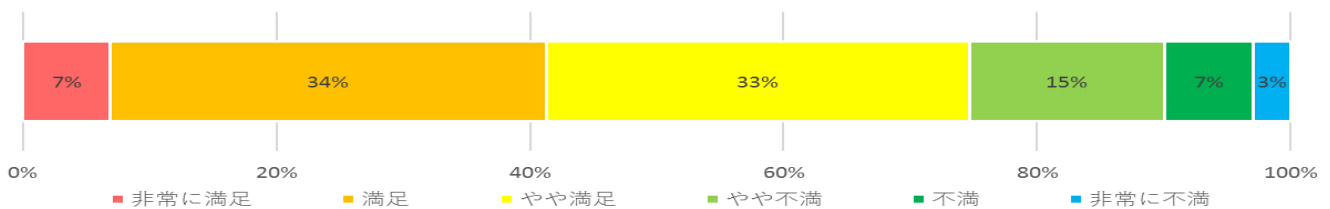
■ 講義情報等の伝達環境の満足度（N = 1009）

「やや満足」以上が大半を示すものの、不満を持っている学生も多にいる。



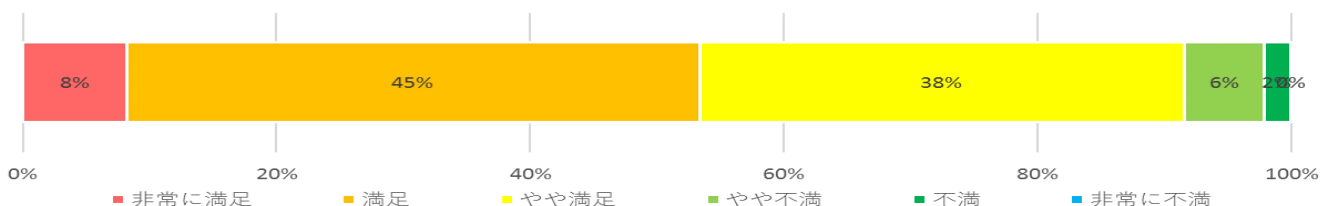
■ ホームページ等での情報提供の満足度（N = 1014）

4人中3人の学生が「やや満足」以上と評価している。



■ 相談環境の満足度（N = 1008）

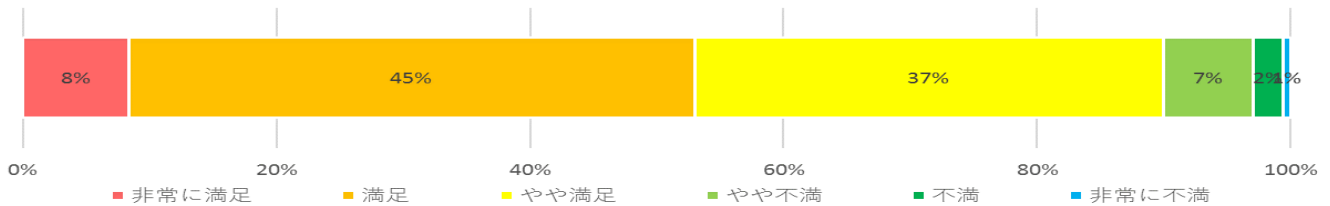
総じて満足という声が多い。



6. 大学に対する満足度（3）

■ 教員サポートの満足度（N = 1007）

教員による学習支援などに満足している学生が多くみとれる。



■ 事務局での窓口対応の満足度（N = 1007）

「やや満足」以上の意見が多い一方で、「不満」「非常に不満」という声も多い。

